【2017 年度　東大地理　第 3 問】

ヨーロッパと日本の産業・社会の変化に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は，解答用紙の(ハ)欄を用い，設問・小問ごとに改行し，設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

図 3－1 は，1990 年時の人口を 1 とした時の各年次の人口の推移を，図 3－2 は，2014 年時の総人口を 1 とした時の年齢階層別人口を，表 3－1 は，それぞれの国の主要な職業の男女別構成比率を示している。これらの図表をみて，以下の問いに答えなさい。

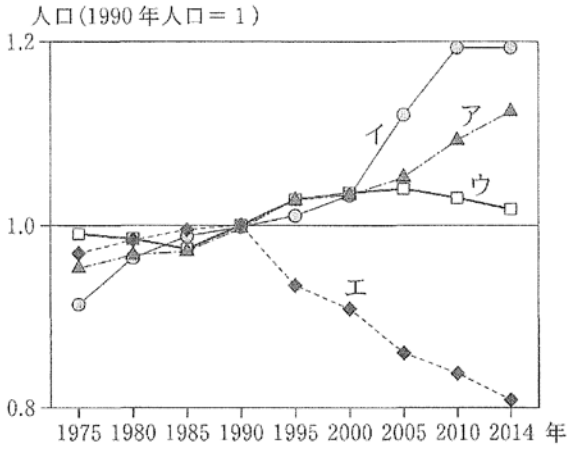

図 3 — 1

資料：国連による。

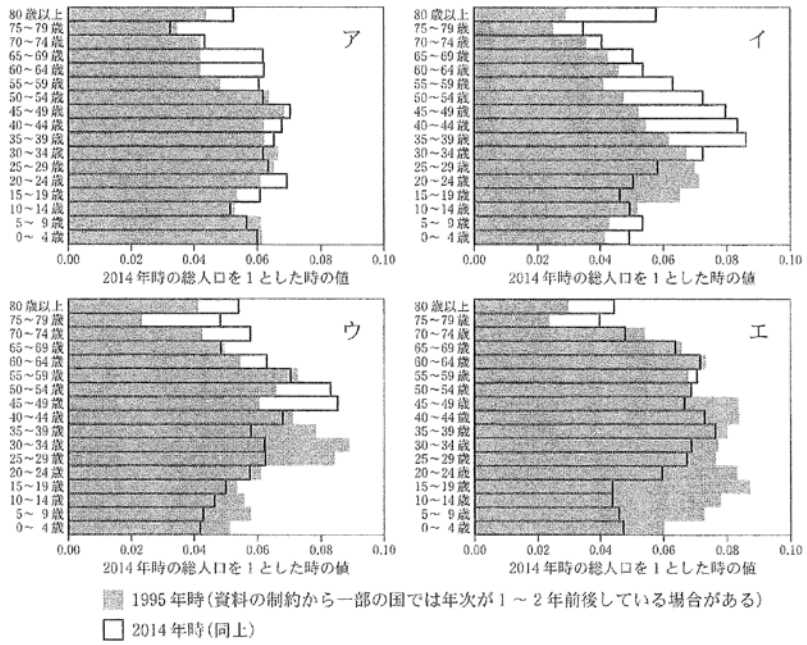

図 3 — 2

資料：国連による。

表3—1

国		管理的・専門的・技術的職業	事務・サービス・販売職	生産工程・労務的職業
ア	男	46.9	15.7	16.4
	女	52.2	37.4	7.9
イ	男	31.7	24.2	23.6
	女	33.3	42.8	21.7
ウ	男	41.5	18.1	15.7
	女	45.7	37.9	12.6
エ	男	24.6	20.4	32.4
	女	37.4	36.8	16.6

単位：%

資料：国際労働機関による(数値は2014年)。

(1) 図表中のア～エの各国は，ブルガリア，ドイツ，スペイン，スウェーデンのいずれかである。それぞれの国名を，アー○のように答えなさい。

(2) ウ国において，ここ20年間の人口構造の変化によって深刻化していると思われる経済的問題を2つ，あわせて2行(60字)以内で答えなさい。

(3) エ国において，1990年以降の人口減少を引き起こしていると考えられる主要な理由を2つ，あわせて2行(60字)以内で答えなさい。

(4) ア国は，他国と比較した時に，青壮年層の人口規模に比べて年少層の人口規模が相対的に大きい。このような状況をもたらしている政策的な要因を，以下の語句をすべて使用して，2行(60字)以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所に下線を引くこと。

女性の社会進出　　労働環境

設問 B

次の表 3－2 は，日本工業の主要業種を取り上げ，各業種の 1963 年，1988 年，2013 年の出荷額等(製造品出荷額等)について，日本全体の数値と上位 5 位までの都道府県名，上位 5 都道府県の対全国比を示したものである。また，表 3－3 は，地方の 5 つの県を取り上げ，2003 年～2008 年，2008 年～2013 年の出荷額等の変化と，2008 年および 2013 年の上位 2 業種を示したものである。これらの表をみて，以下の問いに答えなさい。

表 3－2

業種名	年	全国の出荷額等(百億円)	上位 5 都道府県名					上位 5 都道府県の対全国比(%)
			第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	
食料品	1963 年	292	A	神奈川	兵庫	B	愛知	45
	1988 年	2,125	C	愛知	兵庫	神奈川	B	32
	2013 年	2,495	C	愛知	埼玉	兵庫	神奈川	31
化学および石油製品・石炭製品	1963 年	276	神奈川	A	B	山口	兵庫	49
	1988 年	2,709	神奈川	D	B	山口	岡山	44
	2013 年	4,508	D	神奈川	B	山口	岡山	48
鉄鋼業	1963 年	213	兵庫	B	神奈川	福岡	A	62
	1988 年	1,562	愛知	B	D	兵庫	広島	50
	2013 年	1,791	愛知	兵庫	D	広島	B	49
電気機械	1963 年	198	A	神奈川	B	兵庫	茨城	72
	1988 年	4,678	神奈川	A	B	埼玉	愛知	40
	2013 年	3,683	愛知	三重	静岡	兵庫	長野	33
輸送用機械	1963 年	203	神奈川	愛知	A	広島	B	66
	1988 年	3,737	愛知	神奈川	静岡	埼玉	広島	64
	2013 年	5,820	愛知	静岡	神奈川	群馬	三重	63

1963 年の食料品には，飲料等を含む。2013 年の電気機械は，電子部品・デバイス・電子回路，電気機械，情報通信機械の合計値を用いた。
工業統計表(従業員数 4 人以上)による。

表 3－3

県	出荷額等の増減率(%)		出荷額等の上位業種		
	2003 年～2008 年	2008 年～2013 年	年	1 位	2 位
秋田	19.6	−28.9	2008 年	電子部品等	化学
			2013 年	電子部品等	食料品
山形	11.8	−23.1	2008 年	情報通信機械	電子部品等
			2013 年	電子部品等	情報通信機械
長野	16.6	−22.8	2008 年	情報通信機械	電子部品等
			2013 年	電子部品等	情報通信機械
福岡	18.4	−4.7	2008 年	輸送用機械	鉄鋼
			2013 年	輸送用機械	食料品
大分	45.6	−0.6	2008 年	鉄鋼	化学
			2013 年	化学	輸送用機械

電子部品等は，電子部品・デバイス・電子回路を指す。
工業統計表(従業員数 4 人以上)による。

強者の戦略

(1)　表 3－2 の A，B，C，D は，北海道，千葉，東京，大阪のいずれかである。それぞれの都道府県名を，A－〇のように答えなさい。

(2)　表 3－2 の上位 5 都道府県の対全国比について，1963 年～1988 年の変化をみると，輸送用機械ではほとんど変化していないのに対し，電気機械では大幅に低下してきている。こうした変化の理由として考えられることを，2 行(60 字)以内で述べなさい。

(3)　表 3－3 では，2003 年～2008 年にかけては，いずれの県でも，出荷額等の増加がみられたのに対し，2008 年～2013 年にかけては，大幅な減少がみられた県がある一方で，わずかな減少にとどまった県もある。こうした違いが生じた理由として考えられることを，以下の用語をすべて使用して，3 行(90 字)以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが，使用した箇所に下線を引くこと。

アジア　　デジタル家電　　輸出

前回、英検準１級の二次試験に落ちた話をしたと思いますが、飛び級して英検１級を受けてきました。私の中では棒高跳びで有名なセルゲイ・ブブカ選手は、ある高さに挑戦して２回失敗し、もう１回失敗したら失格というときに、逆にバーの高さを上げてチャレンジし、それを乗り越える人物であったと記憶しています。それになぞらえて私も級を上げてみました。しかし、結果は不合格でした。Reading : 655、Listening : 612、Writing : 637 で総合 1904 点でした。合格点は 2028 点です。耳の悪さを何とかしないと合格はなさそうです。知り合いで合格した人は、Listening、Writing 共に 790 点だったそうです。まさに鉄人ですね。

みなさんは私のように失敗せず、着実に一歩ずつ学力の階段を上がっていってください。

それでは 2017 年度東京大学の第３問の問題を解いてもらおうと思います。頑張ってください。